

ノーリフティングケア取り組み



社会福祉法人カルスト会 特別養護老人ホーム 栲原ふじの家



施設紹介



施設紹介と利用状況



特別養護老人ホーム	定員80人
短期入所生活介護事業	定員15人 ※送迎サービスあり (梶原町内全域)

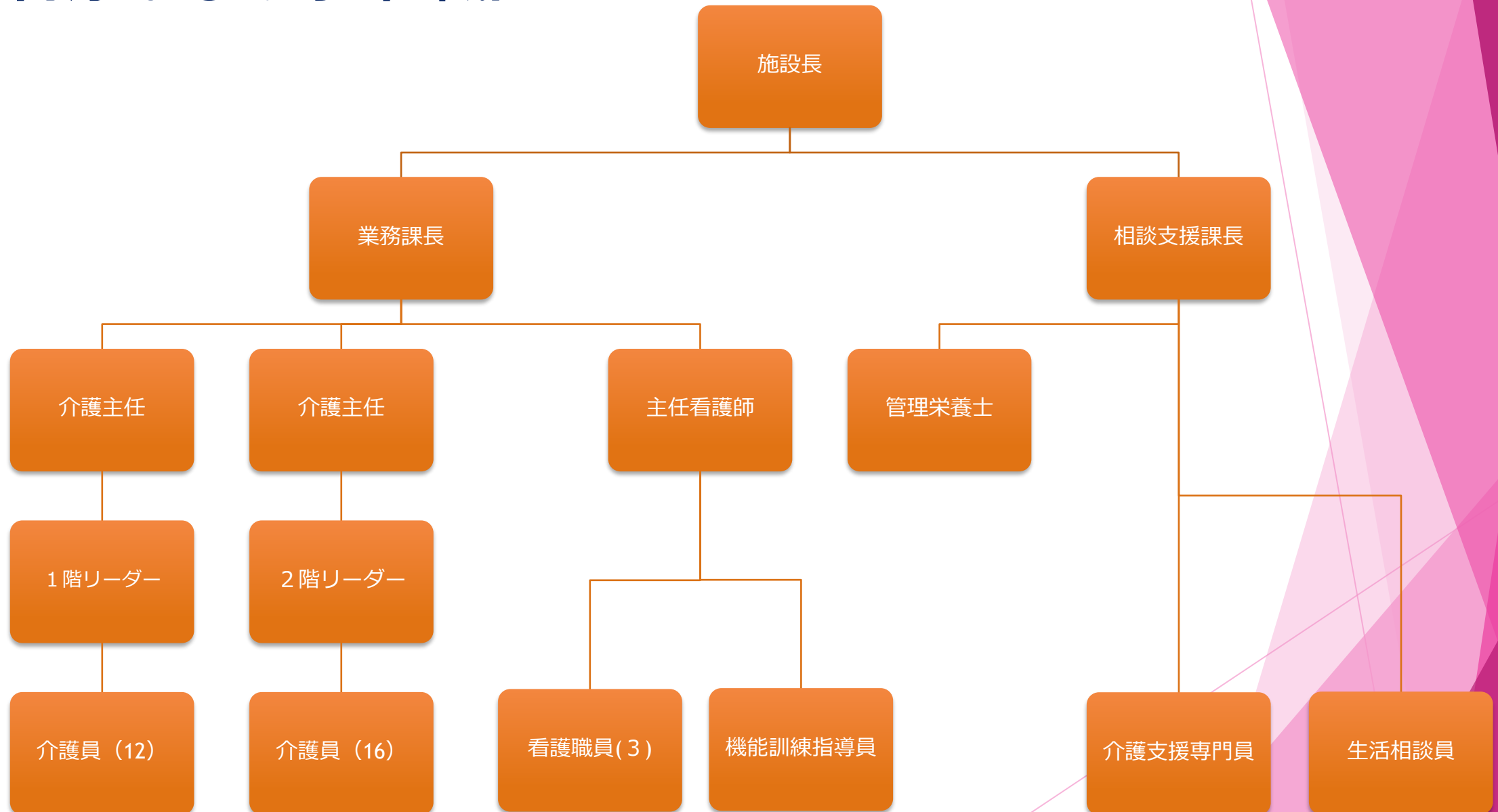
利用状況（令和4年12月末）

要介護度	人数	男性	女性	町内	町外
3	33	13	20	62	11
4	30	6	24		
5	10	3	7		
合計	73	22	51	平均介護度 3.68	

梶原町

人口：3,375人
高齢化率：46.2%

栲原ふじの家 組織図





ノーリフティングケアの導入



高知家基本ケア普及員 来所

平成29年度

9/30・10/21・11/24の三日間来所して頂き、職員
への指導をして頂きました。



平成30年7月 職員4名がノーリフティングケアマネジメント研修受講

この研修に基づいて・・・

『推進チーム』の立ち上げ

当時の施設長・各係長・管理栄養士・介護主任・ケアマネジャー・グループリーダーの**12名**で結成

啓発ポスターを作成し、館内14カ所に掲示 ⇒



理学療法士 来所

平成30年8月からは、毎月1回講師として来所して頂き、移乗やポジショニングについて、日頃困っている事を相談し指導して頂いています。

※現在は2か月に1回



令和元年10月に『ノーリフト委員会』立ち上げ

当時の施設長・介護係長・看護係長・主任生活相談員・主任介護員（2名）
機能訓練指導員・推進委員（介護2名）・技術リーダー（4名）

【内容】

毎月1回委員会を開催し、各階の取り組み状況及び問題・課題提起。
それについての意見交換。勉強会や研修、今後の取り組みについて検討。

【主な取り組み】

- 🌸 新採職員への研修の実施。
- 🌸 担当職員が作成したアセスメント・プランニングの評価・検討。
- 🌸 定期の腰痛・リスク調査。
- 🌸 福祉用具の管理。
- 🌸 専門性の高い研修を受講する。また受講内容は施設内研修（勉強会等）を通して指導する。



講師の理学療法士による
新採職員研修の様子



ノーリフティングケアの取り組み



福祉用具・機器の管理

平成29年度 電動ベッド48台を購入
(内10台は『高知県介護福祉機器等導入支援事業費補助金』で購入)

ベッドがすべて電動ベッドになり高さの調整がし易くなった

前かがみや中腰などの不良姿勢を取らなくなった

平成30年度の介護目標『**ノーリフト（ケアの統一）**』
「利用者・介護者にも負担の掛からないケアを目指す」

職員の意識UPに繋がる

介護員だけでなく看護師も病院受診時には福祉用具を持参するようになり、**他部署職員の意識が向上**している



低床



超低床



福祉用具を持参する際、リクライニング車椅子に取り付けられるように袋を作りました。
(看護師の手作り！)

令和3年度には・・・

『高知県介護福祉機器等導入支援事業費補助金』で以下の物を購入しました！

🍀 スカイリフト・・・2台

🍀 スリング・・・2枚

🍀 スライディングボード・・・10枚

🍀 スライディングシート・・・20枚

🍀 マルチグローブ・・・20枚



環境整備



食事介助や口腔ケア
時に腰を捻じったり
中腰にならないよう
回転する椅子へ変更



⇒ 昇降式のテーブ
ルを設置。腰を
屈める事なく洗
濯物が置めるよ
うになった。



必要な福祉用具
が分かるよう
個々のベッド頭
元に掲示

福祉用具・福祉機器のマニュアル

令和2年度には、スカイリフト・スマイル・スライディングボード・スライディングシート・マルチグローブについての操作・手順マニュアルを作成

スカイリフト操作・手順マニュアル

① 腰にスリングを差し込み足台に足を乗せ、膝を膝パットに沿うような位置に当てベルトでしっかり固定しブレーキを掛ける。

※足を動かさない人はベルトをしなくてもいい。



② 足を固定する場所の長さを調整するときは、解除の所にレバーを持っていき調整する。

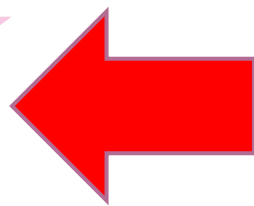
調整後はレバーをロックの所に戻す。



使用する介護員が中心となり職員間で意見を出しながら、操作の仕方・手順だけでなく注意事項やポイントを示す事で新人職員にも分かりやすいマニュアルが完成

アセスメントと プランニング

※居室担当が作成



PDCAサイクルを用いてアセスメントを作成

※退院時など、状態変化あればその都度変更

☆介護員の意見を聞きながら、職員が評価しやすいように委員会で表を作成

☆上期・下期に分けて評価。

☆アセスメントは評価方法を統一できるように選択形式

☆プランニングは他の職員にも分かるよう詳細に記入

施設長	相談支援課長	業務課長	看護主任	介護主任	機能訓練指導員	ノーリフト委員	居室担当

令和 年度 ノーリフト アセスメント・プランニング(4月～9月)

利用者名	様		介護度		年齢		記入日 令和 年 月 日
利用者状況	病名						
	障害						
アセスメント(身体機能:介助状況)							プランニング(ケア方法)
意思疎通	1.出来る	2.やや不自由	3.出来ない				
コミュニケーション	意思疎通が出来、言葉の理解が出来る。	簡単な言葉は理解できる。指示が入りにくい。	意思疎通は出来ない。				
体動	1.自立	2.一部介助	3.全介助				
ベッド上での動き・起き上がり	自由に自分で動く事が出来る。何かに掴まれば一人で出来る。	声掛けを行い、本人の協力動作を得て行う。福祉用具を使用。	自分で動く事が出来ない。定期的な体位変換を行っている。福祉用具を使用。				
座位姿勢	1.自立	2.一部介助	3.全介助				
座位保持	椅子、ベッドサイドで支えなく座る。車椅子姿勢保持が出来る。何かに掴まれば座れる。	ベッド上でも支えがないと座れない。車椅子上でのズレや傾きが起こる。	リクライニング、スイング等の車椅子使用				
移乗	1.自立	2.一部介助	3.全介助				
立位	自分で立つことが出来る。何かに掴まれば立つことが出来る。	身体を支える等の介助が必要。指示が必要。	立位は取れない。福祉用具を使用。				
排泄	1.自立	2.一部介助	3.全介助				
排泄・排便	尿意・便意あり、失禁なし、後始末も出来る。	尿意・便意あり、パット交換、後始末の介助が必要。	排泄の訴えなし、日中トイレ誘導、夜間オムツ対応。終日、オムツ対応。				

上期 取り組み	
上期の評価	
課題	

施設内勉強会（OJT）・・・年2回実施

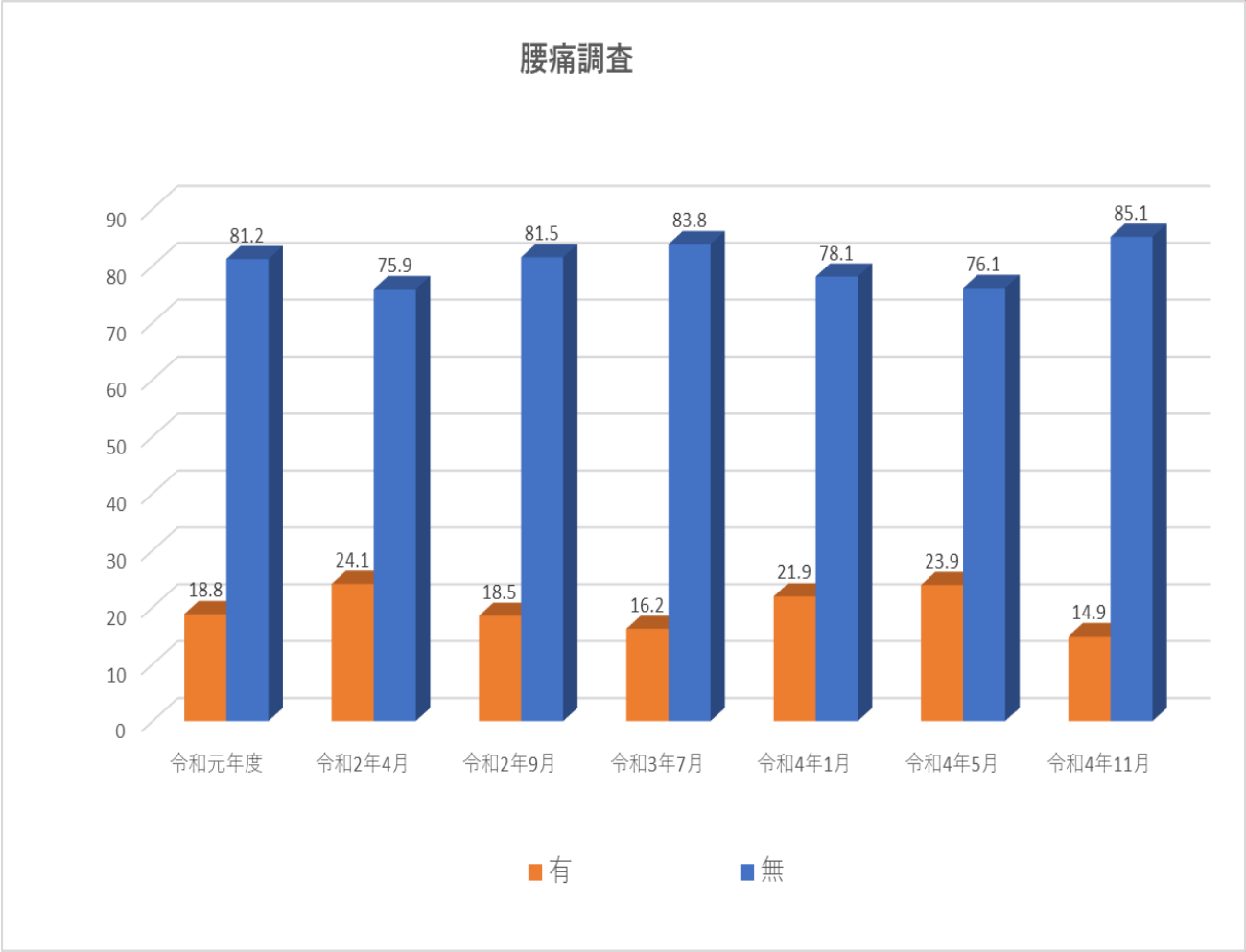


腰痛調査集計・・・年2回実施

腰痛調査（令和元年度～）									
対象者		48名	54名	54名	37名	32名	46名	47名	
		令和元年度	令和2年4月	令和2年9月	令和3年7月	令和4年1月	令和4年5月	令和4年11月	
割合（％）	有	18.8	24.1	18.5	16.2	21.9	23.9	14.9	
	無	81.2	75.9	81.5	83.8	78.1	76.1	85.1	
腰痛（名）	有	9	13	10	6	7	11	7	
	無	39	41	44	31	25	35	40	
令和3年度は介護員のみ									

昨年11月の調査結果では腰痛が有ると答えた者の比率が14.9%と一番低い結果に

ノーリフトケアの浸透
技術の向上



《利用者事例報告》

性 別：男性

年 齢：82歳（令和3年4月現在）

介護度：5

その他：バルーン留置

目標		目標
短期目標	(期間)	サービス内容
美味しく食事が楽しめる	～R4/5/31	食事は軟飯・きざみを提供。水分は緩めのトロミを付け提供。スプーン使用で自力摂取可能だが、誤嚥を繰り返すリスクある為、飲み込む速度等の確認が出来る席で対応し、状態を見ながらゆっくり食べてもらう声掛けをする。尿混濁がある為、出来るだけ水分摂取を促す。摂取状況の観察をし状態に変化ある時は、食形態等の変更検討をする。
排便訴え時、トイレで気持ち良く排泄出来る。	～R4/5/31	排便訴え時は2名介助で移乗機器（スカイリフト）使用し、トイレでの排泄を促す。 ※カテーテルルート要確認。

オムツ対応をしていたが、令和3年2月頃よりトイレの訴え（排便）が増えてきた。



福祉機器（スカイリフト）を使用する事で、利用者が精神的にも落ち着き、下剤服用せずに排便がある。

家族の思い：「トイレで排泄ができるようになった事は嬉しい。」



さらにケアプランにも福祉機器使用の事を記載している



社会福祉協議会と協力して・・・

梶原学園で福祉体験学習を行いました！

グローブでの除圧やボード・シートでの移乗を体験してもらいました



「思ったより楽にできるんや！」
「こんな物はじめて見たよ。」



デスクトップにあるスタートメニューから簡単に確認ができます



★スタートメニュー（法人事務局）
◇行事・出張予定表

梶原ふじの家連絡表

施設用文書・様式

委員会関係

1) ノーリフト委員会



法人内連絡表

1) ケアプラン関係

2) はあとケア委員会

インシデント

1 施設予定表

2) 職員会

3) リスクマネジメント委員会

アクシデント

2 勤務表

3) 勉強会

4) 高齢者虐待防止委員会

小委員会

3 連絡会

4) 絆

5) 感染対策委員会

各グループ

4 広報「梶原ふじの家」

5) 行事記録関係

6) 身体拘束廃止委員会

5 ふじ共有

6)

7) 給食委員会

6 面会予約表

7)

8) 口腔内痰の吸引安全対策

7 中期事業計画

8) 散髪利用表

9) 事故防止検討委員会

時間外勤務同/夜勤/夜間待機実績表

8 防火防災・BCP

9) 新規採用者育成計画

10) 施設研修員会

復命報告書(研修報告書)

Windows File Explorer screenshot showing the 'スタートメニュー' (Start Menu) folder. The 'マニュアル関係' (Manuals) folder is highlighted, and the '腰痛関係' (Lower Back Pain) folder is also highlighted. The '腰痛関係' folder contains various documents related to lower back pain, including '腰痛アンケート・リスク調査' (Lower Back Pain Survey/Risk Survey) and '腰痛集計' (Lower Back Pain Summary).

↑ マニュアル

↑ 腰痛アンケート

～今後の取り組みについて～

1. 法人全体での取り組み体制
2. 環境整備と研修受講によるケアの向上
3. 人口減少中での人材確保・安定したサービス提供



ご清聴ありがとうございました

